

情報公開文書

平成 25 年 3 月 4 日

病理解剖にご同意を頂いたご遺族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

剖検脳脊髄を用いた酸化ストレスによる神経細胞機能の障害と細胞死に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学、同志社大学、新潟大学

[研究責任者] 柴田亮行（東京女子医科大学病理学第一講座主任教授）

[研究の目的] 病理解剖で採取保管された脳脊髄の組織標本を解析し、神経変性疾患における神経細胞の障害と細胞死の仕組みを明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学ならびに新潟大学脳研究所に保管されている剖検脳脊髄を提供した患者さんのうち、1973 年 1 月から 2012 年 12 月までの間に病理解剖された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：脳脊髄の凍結切片およびホルマリン固定パラフィン切片

（切片は染色された後、東京女子医科大学病理学第一講座で保管されます）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、血液・画像検査の結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡下さい。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病理学第一講座 担当医師 柴田亮行

電話：03-3353-8111 (内線 22231)；FAX：03-5269-7408

ヌーナン症候群の疾患特異的成長曲線作成に関する多施設共同研究に対するご協力をお願い
実施責任者

東京女子医科大学循環器小児科

中西敏雄

代表研究者

国立成育医療研究センター生体防御系内科

横谷 進

1 研究目的

診療録に記載された身長・体重の測定値を収集し、日本人のヌーナン症候群の疾患特異的成長曲線の作成を行うことを目的とします。

2 研究協力の任意性と撤回の自由

本研究に参加されるか否かは患者様のご自由です。研究に参加しない場合でも診療上の不利益を受けることは一切なく、診療方針に影響を与えることはありません。また一旦研究に参加された後もいつでもその意思を撤回することができます。ただし撤回された時期がすでに研究結果の公表後であった場合は、実質上撤回の効力はありません。

3 研究方法・研究協力事項

当院でヌーナン症候群と臨床診断された患者様が研究対象に該当します。両親の身長、出生時身長・体重、各年齢での身長・体重、身体所見、診断方法のカルテ情報を利用して研究を行います。また、全国の他の30施設でも同様の調査を行います。当院における対象患者様は5例以上の予定です。

4 研究協力者にもたらされる利益および不利益

過去の診療情報を用いた観察研究であり、個人が特定できないように匿名化された情報を集計するため、研究参加によりもたらされる不利益はほとんどありません。一方、本症候群と診断された患者様については、現在小児期であれば、その後の最終身長を予測でき、成長が順調かどうか分かるという利益があります。

5 個人情報の保護

診療録の情報を利用しますが、それが誰の情報であるか特定できないように、患者様ごとに個人情報が含まれない新たな符号・番号を付けます。診療録番号とこの新しい符号・番号との対応表は、当院で専任の個人情報管理者が厳重に保管します。お名前、ご住所など、患者様を同定できる個人情報は削除された状態で、研究代表施設で集計され、研究代表者、専任の解析担当者により厳重に保管された上、研究に利用されます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は含まれません。

6 研究計画書等の開示

この研究の研究計画については、研究代表施設である国立成育医療研究センターのホームページに公開いたします。

7 協力者への結果の開示

ご希望があれば、患者様の成長曲線を作成してお渡しいたします。

8 研究成果の公表

この研究の成果は、患者様を特定できる個人情報は含まれない形で、研究代表者が学会や学術雑誌で公表する予定です。

9 研究から生じる知的財産権の帰属

この研究から生じる知的財産権は、患者様ではなく、当院および共同研究機関に帰属します。

10 研究終了後の試料取扱の方針

個人情報を消去し、患者様が特定されないようにして作成された調査票は、代表研究者施設で保管しますが、この研究が終了して結果の公表が完了した後、速やかに廃棄いたします。また、患者様ごとに付けた符号・番号と診療録番号との対応表も、結果公表後、当院の情報管理者により速やかに破棄いたします。

11 費用負担に関する事項

診療にかかる費用以外で、患者様に費用負担をお願いすることはありません。

12 問い合わせ先

研究実施責任者

循環器小児科教授

中西敏雄

住所：〒162-8666

東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

電話：03-3353-23111（直通）

**青山内科小児科医院に通院中の
ネオニコチノイド中毒が疑われる患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ヒト尿中農薬代謝産物の分析

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター麻酔科

【研究責任者】 小森 万希子 東医療センター麻酔科教授

【研究の目的】

症状から農薬中毒が疑われた患者さんの尿中の農薬およびその代謝産物を分析する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

農薬中毒が疑われる患者さんで、平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日の間にヒト尿中農薬代謝産物の研究用の尿の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：尿（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、自覚症状、診察所見

尿採取前 3 日間の食事内容の記録、血液検査結果、画像診断検査結果

心電図検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体とカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都

東京女子医科大学東医療センター麻酔科

担当医師 平 久美子

電話 03-3810-1111 FAX 03-3800-7873

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたは御家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常の診療上の検査データを用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 脳卒中の診断：CT血管撮影、CT脳灌流画像を用いて

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター

【研究組織】 (◎ 研究責任者)

◎ 糟谷英俊	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	教授
笹原 篤	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	講師
谷 茂	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	助教
萩原信司	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	助教

【研究の目的】

当院に救急搬送された急性期脳卒中患者さんの脳血管の形態の異常（狭窄、閉塞、動脈瘤の有無および形状）および脳循環状態を、CT血管撮影、CT脳灌流画像から評価し、治療、予後評価への有用性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

東京女子医科大学脳神経外科に入院された急性期脳卒中患者さんで、CT血管撮影、CT脳灌流画像の検査を受けた方

●利用する検査結果およびカルテ情報

検査結果：診療経過中必要に応じて行ったCT血管撮影、CT脳灌流画像

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、治療効果、状態など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査結果を利用することを御了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問合せ先】

東京都荒川区西尾久2-1-10

東京女子医科大学東医療センター脳神経外科 担当医師 笹原 篤

電話 03-3810-1111 (6135) FAX 03-3819-8680

耳鼻咽喉科・呼吸器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】「好酸球性中耳炎合併の有無による気管支喘息病態の違いについての検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院 耳鼻咽喉科・呼吸器内科

【研究責任者】 吉原 俊雄 耳鼻咽喉科 主任教授

【研究の目的】

気管支喘息と好酸球性中耳炎は高率に合併すると言われていますが、その合併因子は明らかになっていません。そこで、気管支喘息患者さんの普段の診療において既に施行されている、血液検査、呼吸機能検査、胸部 CT 上での定量的な気管壁肥厚測定結果や喫煙歴、アレルギー歴などを、好酸球性中耳炎合併の有無によって後ろ向きに比較検討することで、好酸球性中耳炎を合併しやすい因子を同定することが目的です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 18 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間で呼吸器内科、耳鼻咽喉科に通院または入院された気管支喘息患者さん

●利用するカルテ情報

年齢 性別 罹病期間 喫煙歴 アレルギー歴 既往歴
合併症 治療内容 血液検査 呼吸機能検査 胸部CT検査

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院耳鼻咽喉科 担当医師 瀬尾 友佳子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7351

東京女子医科大学 web ページ説明書

(1)研究の趣旨

腎癌は日本において10万人あたり7-8人に発生する疾患です。近年は健康診断の普及や医療機器の進歩により、比較的早期がんとして見つかる症例が増えています。但し、進行がんで発見される症例も未だ多数存在します。今回は、今まで当院にて治療した腎癌患者さんの特徴を時代ごとに分けて分析して、悪性度や生存率がどのように変化しているかを調査して今後の腎癌治療の参考にしたいと考えています。

(2)対象

1989年1月1日から2012年12月31日までの8年間に、東京女子医科大学泌尿器科で腎癌の治療をした約2000名。

(3)研究内容

腎癌に対する治療を受けた患者さんの特徴（年齢、性別、発見契機）／腫瘍の特徴（大きさ、位置、異型度、臨床病期など）／生存率を時代ごとに分けて、その推移を分析する。

(4)個人情報の管理について

今回は、診療記録を再度評価し直すことを目的とします。新たに検体を採取することはしませんが、臨床的なデータと比較する必要があるため個人情報を扱います。個人情報を今回の研究以外で利用することは有りません。また、学会／論文で報告させて頂く際は、個人情報は全て削除致します。

(5)研究期間

研究を行う期間は承認日より平成25年8月31日

(6)医学上の貢献

得られた結果を学会や論文等に公開する事により、腎癌診療の参考資料として役立つ可能性があります。

(8)試料提供者にもたらされる利益及び不利益

研究に参加したことで治療内容が異なることは有りません。本研究に参加することにより加わる新たなリスクは有りません。

(9)研究に参加しなかった場合の対応（他の治療法の有無やその内容）

本研究に参加されない場合でもそのことで不利益を被ることは一切なく、従来の医療を受けることができます。

(10)検査結果を伝えることについて

本研究は腎癌患者さんの特徴を解析するものであり、個別の検査（実験）結果については告知致しません。

(11)研究結果の公表

研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名等が明らかにならないようにした上で、学会や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されることがあります。

(12)研究から生ずる知的所有権について

特許等の知的所有権が生じた場合は、研究者あるいは研究機関がその知的所有権を持つことになります。

(13)研究用の検査の費用について

本研究にかかる患者さんの費用負担は有りません。

(14)問い合わせ先

○ 問い合わせ先

説明者氏名、診療担当医師氏名：

東京女子医科大学泌尿器科 助教 高木 敏男

電話：03-3353-8111 内線 36441

東京女子医科大学 web ページ説明書

(1)研究の趣旨

最近、転移性腎細胞癌に対し、欧米のみならず本邦においてもネクサバルやスーテントといった分子標的療法剤が広く用いられています。しかし、現時点では本当に日本人の患者さんに対し有効で予後を改善するかどうかという点はまだ明らかではありません。そのため、分子標的療法が使用可能になってからの転移性腎細胞癌症例のデータを集積し、予後を明らかにするとともに、欧米の患者さんの予後との比較、さらに今後の治療選択に役立つ日本人患者さんの予後予測因子の探索を行うことを目的として本研究を企画しました。

(2)対象

2008年から2010年までに臨床的に腎細胞癌と診断され、初診時もしくは経過観察中に転移を認めた方

(3)研究内容

日本において、分子標的薬を使用できる様になってからの転移性腎癌の予後因子を明らかにする。

(4)個人情報の管理について

今回は、診療記録を再度評価し直すことを目的とします。新たに検体を採取することはしませんが、臨床的なデータと比較する必要があり個人情報を扱います。個人情報を今回の研究以外で利用することは有りません。また、学会／論文で報告させて頂く際は、個人情報は全て削除致します。

(5)研究期間

研究を行う期間は承認日より平成26年8月31日

(6)医学上の貢献

得られた結果を学会や論文等に公開する事により、腎癌診療の参考資料として役立つ可能性があります。

(8)試料提供者にもたらされる利益及び不利益

研究に参加したことで治療内容が異なることは有りません。本研究に参加す

ることにより加わる新たなリスクは有りません。

(9)研究に参加しなかった場合の対応（他の治療法の有無やその内容）

本研究に参加されない場合でもそのことで不利益を被ることは一切なく、従来の医療を受けることができます。

(10)検査結果を伝えることについて

本研究は腎癌患者さんの特徴を解析するものであり、個別の検査（実験）結果については告知致しません。

(11)研究結果の公表

研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名等が明らかにならないようにした上で、学会や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されることがあります。

(12)研究から生ずる知的所有権について

特許等の知的所有権が生じた場合は、研究者あるいは研究機関がその知的所有権を持つことになります。

(13)研究用の検査の費用について

本研究にかかる患者さんの費用負担は有りません。

(14)問い合わせ先

○ 問い合わせ先

説明者氏名、診療担当医師氏名：

東京女子医科大学泌尿器科 講師 近藤 恒徳

電話：03-3353-8111 内線 36441

第2外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 胃切除術後の体液組成分析による栄養評価（In Body720 測定装置を用いた検討）

【研究機関】 東京女子医科大学病院第2外科

【研究責任者】 亀岡 信悟 第2外科 主任教授

【研究の目的】

胃切除術後の栄養状態評価において生体組成分析検査を検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

胃切除術後で第2外科通院中の患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、身体所見、術式、治療内容、

検査結果（採血、生体組成分析結果）、手術時期

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第2外科 担当医師 齋藤元伸

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

東京女子医科大学病院東医療センターに通院中の患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心電図同期デュアルエネルギーCTによる冠動脈石灰化病変の解析

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター 放射線科及び内科

【研究責任者】 東京女子医科大学東医療センター 放射線科 教授：上野恵子

【臨床研究について】

それぞれの病気の診断や治療は、長い期間をかけて進歩・発展してきて現在の方法になっています。また、より効果的で安全な治療を患者さんにお届けするためには、これからも医療の進歩・発展は重要なことです。このような診断や治療の方法の進歩・発展のためには多くの研究が必要ですが、その中には健康な人や患者さんを対象に実施しなければならないものがあります。これを「臨床研究」と言います。臨床研究は患者さんを始めとした多くの方々のご理解とご協力によって成り立つものです。

臨床研究にはいろいろな種類がありますが、今回ご説明する研究は「観察研究」と呼ばれているものです。これは、新しいお薬や治療法を試す研究ではなく、現在、標準的と考えられている治療を行い、その結果を「観察」させていただくものです。つまり、今のあなたの病気の状態からみた標準的な治療を行い、その治療前、治療中あるいは治療後のあなたの身体所見や検査結果などをデータとして集めさせていただきます。これらのデータを分析することにより、病気の原因の解明やよりよい治療方法の開発に役立てようとするものです。したがって、通常の治療を行いながら、あなたのデータを利用させていただくことが、今回の臨床研究でお願いすることです。

【心電図同期デュアルエネルギーCT 検査について】

狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患では、心臓の筋肉（心筋）を栄養する冠動脈の狭さを評価することが、病気の診断や治療方針の決定に重要です。冠動脈 CT 血管造影は冠動脈の狭さを評価する目的で広く施行されている非常に優れた侵襲性の低い検査でこの検査で大きな問題が認められなければ実際の冠動脈も問題がないことがほとんどです。問題となる病変が認められれば更に冠動脈造影検査（心臓カテーテル検査）が必要となります。しかしながら今までの冠動脈 CT 血管造影では石灰化病変が存在した場合に病変の評価が

困難でした。

本研究で用いる心電図同期デュアルエネルギーCT 血管造影検査は新しい CT の方法で、冠動脈石灰化病変の性状をより精確に評価するとともに、石灰化による問題を解消する期待が持たれています。

[研究の目的]

冠動脈石灰化がある場合に心電図同期デュアルエネルギーCT 血管造影検査によって冠動脈石灰化病変の性状の解析を行います。また画像処理によってより精確な病変の評価が出来るのか検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

心筋梗塞、狭心症、心臓バイパス術、経皮的冠動脈インターベンション術後を含む虚血性心疾患あるいは同疾患疑いの患者さんで、平成 24 年 6 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日の間に心電図同期デュアルエネルギー冠動脈CT 血管造影検査の検査を受けた方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（心電図同期デュアルエネルギー冠動脈 CT 血管造影検査、血液検査、心電図検査、心臓超音波検査、X線検査、MRI 検査）。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10 東京女子医科大学東医療センター

放射線科 担当医師： 町田治彦

電話 03-3810-1111 内線 2118 FAX 03-3894-0282

内科 担当医師： 大森久子

電話 03-3810-1111 内線 4121 FAX 03-5855-6258

腎臓小児科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 小児腎移植の成績向上に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓小児科

【研究責任者】 腎臓小児科 教授 服部元史

【研究の目的】

当院腎臓小児科における小児腎移植患者の移植腎生着率や背景を検討することにより、現時点での小児腎移植の問題点を明らかとし、小児腎移植のさらなる成績向上につなげることを目的とする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎臓小児科において腎移植を受けた患者さんのうち、1986年1月1日から2012年12月31日の間に腎移植を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名（原疾患）、移植歴、透析歴、身体所見、腎移植条件、免疫抑制剤など投薬状況、拒絶反応の有無と種類および治療と治療反応性、移植腎生検結果、合併症と治療内容、入院歴と入院理由、成長（身長・体重）、血液検査、尿検査、移植腎喪失の場合（時期、移植腎喪失理由）、死亡の場合（時期、死因、移植腎機能の有無）、移植後の生活の質（学歴、職歴、収入の有無、住居と経済の自立状況、婚姻歴、子の有無、精神疾患の有無）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをよく理解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 近本裕子

電話 03-3353-8111 (内) 36441 FAX 03-3356-0293

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 脳病態統合イメージングセンター（IBIC）と連携したミオパチーの骨格筋画像解析に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院小児科

【研究責任者】 永田 智 小児科 主任教授

【研究の目的】

多くの患者さんの骨格筋画像を検討しミオパチーの特徴を明らかにするとともに未だ不明な点の多い、病気の成り立ちについて検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 25 年 3 月 31 日までにミオパチーと診断された患者さんで、平成 16 年 7 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの間に骨格筋 CT または MRI の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、呼吸機能検査、遺伝子検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 村上てるみ 石垣景子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7338

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 不整脈疾患に対する ω -3多価不飽和脂肪酸の抗不整脈作用の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 循環器小児科

【研究責任者】 東京女子医科大学 循環器小児科 教授 中西敏雄

【研究の目的】

不整脈疾患の患者様において、血液中の ω -3多価不飽和脂肪酸（EPA）と ω -6多価不飽和脂肪酸（AA）の比（EPA/AA比）を測定し、不整脈発作の予防に役立つ指標であるかを検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

不整脈疾患の患者様で、平成3年1月1日から平成25年3月31日の間に不整脈疾患の原因遺伝子検索の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、家族歴の有無、検査結果（血液検査、心電図検査）、失神発作の有無および状況、治療法

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 中西敏雄

電話 03-3353-8111 FAX 03-3353-

救命救急センターにご入院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 外傷急性期凝固線溶動態に関する多施設共同後向き研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院救命救急センター

【研究責任者】 東京女子医科大学 救急医学 准教授 矢口有乃

【研究の目的】

外傷患者さんにおける、急性期の凝固止血機能の病態を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

救命救急センターに入院された外傷患者さんで、平成24年1月1日から平成24年12月31日の間に重症外傷として治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見（ケガの部位と程度）、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容（薬剤、輸液、輸血製剤の種類と量）、退院時状況

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院救命救急センター 担当医師 矢口有乃、武田宗和

電話 03-3353-8111 内線(36085) FAX 03-5269-7335

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 人工心臓弁（StJude Medeical 弁）の長期臨床成績に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 心臓血管外科

【研究責任者】 山崎健二

【研究の目的】

SJM 人工心臓弁の長期成績を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当院で心臓弁置換手術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査）、手術記事

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科科 担当医師 齋藤 聡

電話 03-3353-8111 (28474) FAX 03-3356-0441

**東京女子医科大学病院に過去に通院・入院されたことのある
患者さんのご家族の方へ（臨床研究に関する情報）**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 上皮性悪性腫瘍の増殖進展におけるオステオポンチンおよびその受容体と下流シグナルの役割に関する分子病理学的研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院

【研究責任者】 東京女子医科大学病理学第一講座・主任教授 柴田 亮行

【研究の目的】 上皮性悪性腫瘍の増殖進展機構におけるオステオポンチンおよびその受容体の関与を明らかにして再発予防薬の開発に繋がる情報を得ること

【研究の方法】

- 対象となる方: 東京女子医科大学病院で手術により上皮性悪性腫瘍を切除された患者さん
- 利用する検体: 手術により得られた上皮性悪性腫瘍のホルマリン固定パラフィン包埋材料
- 病理検査依頼書記載事項:
 - ①基本情報: 発症時および手術時の年齢、性別
 - ②疾患情報: 疾患名、発生部位、腫瘍径

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

（注）検体組織や個人情報を東京女子医大の外部に持ち出すことは一切、致しません。

* 上記の研究に検体とカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学第一病理学教室 担当医師 柴田 亮行

TEL 03-3353-8111; FAX 03-5269-7408

平成●年●月●日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 人工肛門造設の現状についての後ろ向き研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 亀岡信悟 第二外科 主任教授

【研究の目的】

人工肛門の現状について調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2011年1月から2012年12月までの間に東京女子医科大学第二外科および研究協力施設で人工肛門造設が行われた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、人工肛門造設の適応、手術日、手術緊急度、術前のストーマサイトマーキング、人工肛門の種類（部位、形状）、皮膚切開の方法、人工肛門の計測データ、術後早期合併症の有無、早期合併症の内容

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科

担当医師 ●●●●

電話 03-3353-8111(内線 39251)

FAX 03-5269-7334

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたは御家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常の診療上の検査データを用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 重症頭部外傷の診断；CT 血管撮影、CT 脳灌流画像についての研究

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター

【研究責任者】 脳神経外科 教授 糟谷英俊

【研究の目的】 当院に救急搬送された重症頭部外傷患者の脳血管の形態の異常（狭窄、閉塞、動脈瘤の有無および形状）および脳循環状態を CT 血管撮影、CT 灌流画像を施行し、その結果を評価し、治療、予後評価への有用性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

東京女子医科大学脳神経外科に救急搬送された重症頭部外傷の患者さんで、かつて当院でCT 血管撮影、CT 脳灌流画像の検査を受けた方

●利用する検査結果およびカルテ情報

検査結果：診療経過中必要に応じて行ったCT血管撮影、CT脳灌流画像

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、治療効果、状態など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査結果を利用することを御了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問合せ先】

東京都荒川区西尾久2-1-10

東京女子医科大学東医療センター脳神経外科 担当医師 笹原 篤

電話 03-3810-1111 (6135) FAX 03-3819-8680

新生児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、お子様への通常の診療行為の中で行われた呼吸機能検査の数値を再利用することのみで行われます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 新生児・小児における呼吸耐力(Breathing Intolerance Index: BITI)の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院周産期新生児診療部新生児科

【研究責任者】 長谷川久弥

東京女子医科大学東医療センター周産期新生児診療部新生児科 臨床教授

【研究の目的】

BITI という呼吸状態の評価における新しい指標をとりいれることにより、新生児、小児の呼吸管理をよりよくしていくこと

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当院に入院や通院歴のある患者さんで、呼吸障害があり治療を要した方の中で、呼吸機能検査を行った方、染色体異常や遺伝子異常が疑われた方の中で、呼吸機能検査を行った方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：呼吸機能検査データ

カルテ情報：年齢、性別、診断名、行った治療、血液検査等の検査データ、など

※今回の研究に際して新たに受診していただくことや、新しいデータを取得することはありません。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*この研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院周産期新生児診療部新生児科

担当医師 山田洋輔

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-0282

**循環器内科、神経内科に通院中の
(または過去に通院・入院されたことのある) 患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 非弁膜性心房細動患者を対象とした抗凝固療法の治療実態について

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科、神経内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原 誠久

[研究の目的]

心房細動に対し抗凝固薬（ワルファリン、ダビガトラン、アピキサバン、リバーロキサバン）が処方された患者について、イベントの発生と臨床背景について検討をおこない、各抗凝固療法の治療成績についての評価を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011年3月1日から2013年6月31日までに東京女子医科大学病院循環器内科および神経内科に通院または入院した心房細動患者さんのうち、抗凝固薬（ワルファリン、ダビガトラン、アピキサバン、リバーロキサバン）の処方がおこなわれた患者さん

●利用するカルテ情報

性別、年齢、身長、体重、基礎心疾患、既往歴（高血圧、糖尿病、冠動脈疾患、左室機能不全の有無）、血栓塞栓症の既往（脳梗塞、一過性脳虚血発作（TIA）、静脈血栓塞栓症）、出血を伴う疾患の既往（消化性潰瘍、腫瘍、頭蓋内出血、その他の出血）、デバイスの有無（植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、手術歴、透析歴、喫煙、甲状腺機能亢進症の有無、心臓超音波検査、心プールシンチグラフィ、左室造影検査、抗凝固薬の使用状況、併用薬（抗血小板薬、ジゴキシン、抗不整脈薬、ベータ遮断薬、ACE-I/ARB等）血液検査（PT-INR、血清クレアチニン、BNP）、イベント（塞栓症；脳梗塞、一過性脳虚血発作、その他の全身性塞栓症および出血合併症（安全性）；頭蓋内出血、輸血または入院治療を必要とする出血）の発生日、イベントの詳細、イベント時の画像所見、最終観察日（外来受診日、入院確認日、退院日）、死亡日、死亡理由

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター 担当 長沼 美代子

電話 03-5269-7493 FAX 03-5269-6745

第2外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 大腸粘液癌の細分類と予後の関連

【研究機関】 東京女子医科大学病院第2外科

【研究責任者】 主任教授 亀岡 信悟

【研究の目的】

手術で切除した大腸癌の顕微鏡で見られる細胞をみて、悪性度を患者様の術後の経過と関連させ明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、平成7年1月1日から平成12年12月31日の間に第2外科で大腸癌の手術を受けた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：大腸癌の病理組織

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡検査、病理組織検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病院第2外科 担当医師 加治 早苗

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

放射線科 CT 室で検査をおこなう（または過去におこなったことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 モーション補正アルゴリズムを用いた心臓 CT におけるモーションアーチファクト低減効果の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター放射線科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学東医療センター 放射線科教授 上野 恵子

〔研究の目的〕

心臓 CT の画質を改善するアルゴリズムの有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 24 年 6 月 1 日から平成 25 年 4 月 30 日の間に心臓 CT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、検査結果（CT 画像）、検査時の心拍数、身長、体重

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当 田中 功

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-0282

東医療センターにて MRI 検査を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

非造影 MR Digital subtraction Angiography による血流動態評価に関する検討

〔研究機関〕

東京女子医科大学東医療センター 放射線科

〔研究責任者〕

上野 恵子 放射線科 教授

〔研究の目的〕

MRI にて造影剤を使用せずに、血流動態の情報を得る方法の有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

脳梗塞、脳動静脈奇形、脳動脈瘤（疑いを含む）の患者さんで、平成 23 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日の間に MRI 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、画像診断結果、MRI 画像

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当 小島 慎也

電話 03-3810-1111（内線 7181） FAX 03-3894-0282

膠原病リウマチ痛風センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 関節リウマチ患者における上肢機能障害評価方法と、保存療法ならびに手術的治療における成績不良因子の検討

【研究機関】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

【研究責任者】 桃原茂樹、膠原病リウマチ痛風センター、教授

【研究の目的】

リウマチ上肢機能障害に対するよりよい評価方法の確立と、各種治療法の成績不良因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、平成10年4月1日から平成30年3月31日の間にリウマチ性上肢障害の検査や治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、細菌学的検査）、アンケート結果、手術記録、術中所見、病理組織学的所見。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 越智健介、佐久間悠

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心疾患特異的iPS細胞樹立とその疾患特異的機能の評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 循環器小児科

〔実施責任者〕 東京女子医科大学 循環器小児科 教授 中西敏雄

〔研究の目的〕

本研究の目的は先天性心疾患における、遺伝子変異をもつ患者由来の疾患特異的iPS細胞を作成し、そのiPS細胞由来の心筋細胞を作製し、これらを用いた機能不全などの検討、評価を行い、遺伝子変異と臨床像の関係を解明することを目的とします。

〔研究の方法〕

(1) 対象となる患者様

東京女子医科大学循環器小児科において先天性心疾患における疾患原因遺伝子検索を受けた方

(2) 利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用として保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、家族歴の有無、検査結果（心臓カテーテル検査）、重症度（NYHA分類）

(3) 研究終了後の試料取扱

作製したiPS細胞については、現時点で原因解明が進んでいない病気でも、将来原因が解明された場合に分析できるよう代表研究者施設で凍結保存します。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

研究実施責任者 循環器小児科 教授 中西敏雄

住所：〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院循環器小児科

電話：03-3353-8111 内線23110

土佐町ご長寿健診受診者の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 日本における地域在住高齢者の健康実態に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 東医療センター 内科

京都大学 東南アジア研究所

総合地球環境学研究所

【研究責任者】 東京女子医科大学東医療センター 内科 教授 佐倉 宏

【研究の目的】

75 歳以上の地域在住者の健康の実態を健康関連問診並びに総合的機能評価(疾病診断、ライフ・スタイル、生活機能、QOL、うつ、認知機能等)により評価します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2004 年度からの土佐町長寿健診を受診された 75 歳以上の土佐町民の皆様

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、心電図検査、脈波伝達速度、心エコー)、認知機能検査

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。――

*上記の研究に健診情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 東医療センター 内科

担当医師 佐藤恭子

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-1147

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当科肥満外来通院中の児の成長経過の見直しとその後の現況についての調査

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター小児科

[研究責任者] 杉原 茂孝 東京女子医科大学東医療センター小児科 教授

[研究の目的]

小児肥満・メタボリックシンドロームを認める児の成長の過程と予後に関する調査

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肥満の患者さんで、1997年から現在までの間に肥満の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、出生時情報、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター小児科

担当医師 杉原 茂孝

電話 03-3810-1111

平成 25 年 9 月 10 日

2930

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「上部尿路上皮癌に対するリンパ節郭清と再発パターンに与える影響の検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 主任教授 田邊 一成

【研究の目的】

上部尿路上皮がん（腎盂がん、尿管がん）の患者さんの手術後の再発形式とリンパ節郭清の影響を検討する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

上部尿路上皮がんの患者さんで、昭和 62 年 1 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日の間に手術治療を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）

②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 近藤 恒徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

2932

平成 25 年 8 月 14 日

消化器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 本邦クローン病におけるカプセル内視鏡所見の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 立元 敬子

【研究の目的】

クローン病疑診例ならびに確診例におけるカプセル内視鏡所見を検討し、クローン病診断に結びつくカプセル内視鏡所見を抽出することです。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

クローン病疑診例ないしクローン病確診の患者さんで、平成 16 年 5 月 1 日から平成 24 年 7 月 31 日までにカプセル内視鏡検査を実施した方。

●利用するカルテ情報

臨床情報（年齢、性別、検査理由、最終診断など）と、カプセル内視鏡で得られた画像情報を過去にさかのぼって調査します。収集されたカプセル画像を再評価し、クローン病が確定診断された方とクローン病が否定された方の小腸病変の種類、分布を比較し、クローン病の診断に有用なカプセル内視鏡所見を検討します。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科

担当医師 大森 鉄平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 25 年 9 月 26 日

中央病棟 2 階 ICU に敗血症性ショックで入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

敗血症性ショック患者に対し高用量ノルアドレナリン投与時のバソプレシン併用が
予後に与える影響についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院麻酔科

[研究責任者] 麻酔科学教室主任教授 尾崎 眞

[研究の目的] 敗血症性ショック時に、高用量ノルアドレナリンにバソプレシンを併用することによる予後への影響を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

敗血症性ショックの患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日の間に
ICU で治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、内服薬、基礎疾患、バイタルサイン（血圧、心拍数）、検査結果（血液検査、血液培養）、経過中の使用薬剤の種類と投与量、入院期間、
ICU 入室期間

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 小谷 透

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7336

平成 25 年 3 月 5 日

皮膚科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 免疫反応が表皮に与える影響に着目したアトピー性皮膚炎を含むアレルギー性皮膚疾患の病態解明と臨床応用可能な病態マーカーの開発

【研究機関】 東京女子医科大学病院皮膚科

【研究責任者】 東京女子医科大学 皮膚科学 川島 眞

【研究の目的】

アトピー性皮膚炎の原因についてはまだ良く分かっていないことが多く、現在も多くの研究が行われています。この研究では、同意していただいた患者さんから提供いただいた血液の解析や組織を観察することで、この病気の原因を明らかにし、治療法の向上に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 21 年 8 月 4 日から平成 23 年 8 月 3 日の臨床研究「アトピー性皮膚炎を含む湿疹群及びその他の皮膚疾患と TSLP の関与に関する検討」において、血液や皮膚の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、皮膚組織

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査、病理組織

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院皮膚科 医局 03-3353-8111（内線）31220

2947

平成●年●月●日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 大腸癌治癒切除後の予後予測ノモグラムの開発

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第二外科

〔研究責任者〕 第二外科 主任教授 亀岡信悟

〔研究の目的〕

予後予測ノモグラムの有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、平成19年1月1日から平成20年12月31日の間に手術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査）、手術記録、病理組織学的所見、経過記録

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 小川真平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 25 年 9 月 20 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Kommerell 憩室に対する外科的治療法

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 津久井宏行 心臓血管外科 准講師

[研究の目的]

Kommerell 憩室に対する外科的治療法の有用性を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000 年 7 月から 2012 年 12 月までに、Kommerell 憩室と診断され、弓部全置換術を施行された方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、体表面積、症状、診断名、既往歴、治療内容、検査結果、画像結果、手術記録、手術中写真

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科

担当医師 津久井宏行

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 25 年 10 月 1 日

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターに
通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 関節リウマチの病態・治療に関する観察研究 IORRA

【研究機関】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

【研究責任者】 所長 山中 寿

【研究の目的】

日本人関節リウマチ患者さんの診療の実態を明らかにし、リウマチ診療の向上に役立つような情報の提言を行っていきます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、2000 年 10 月から 2013 年 9 月末日までの間に、当センターを受診なさりリウマチ調査に同意いただいた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、関節所見、検査結果（血液検査、尿検査、骨関節 X 線、胸部 X 線）、関節手術、入院歴、合併症の発症と時期、治療薬など

●利用する資料

リウマチ調査用紙に記入していただいた事項：疾患活動性、身体機能障害度、生活の質尺度、合併症、治療薬など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 中島亜矢子

電話 03-3350-0826 FAX 03-5269-1726

平成●年●月●日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

～臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い～

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ロジスティックモデルを用いた直腸癌リンパ節転移診断

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 亀岡信悟 第二外科 主任教授

【研究の目的】

術前リンパ節転移診断の向上

【研究の方法】

●対象となる患者様

1998年1月から2012年12月までの間に東京女子医科大学第二外科で直腸癌の手術を受けられた患者様

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、MRI画像所見(描出リンパ節の長径)、腫瘍最大径、組織型、肉眼型、壁深達度、リンパ節転移度、血液データ

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科

電話 03-3353-8111(内線 39251)

担当医師 小川真平

FAX 03-5269-7334

平成 25 年 10 月 24 日

女性生涯健康センター皮膚科に通院中、
または過去に通院されたことのある患者さんへ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「ロボスキンアナライザーにより計測した顔面皮膚の状態と生活習慣との関連について」

【研究機関】 東京女子医科大学女性生涯健康センター皮膚科

【研究責任者】 檜垣祐子 東京女子医科大学 女性生涯健康センター 教授

【研究の目的】 肌状態と生活習慣との関係を調査し、望ましい生活習慣を明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012 年 6 月から 2013 年 12 月までの間に東京女子医科大学附属女性生涯健康センター皮膚科にてロボスキンアナライザーによる肌状態の解析を受けた 20 歳以上の女性患者

●利用するカルテ情報

①年齢

②通院治療中の皮膚疾患（診断名、治療内容）、既往歴、合併症

③生活習慣に関するアンケート結果

④主観的評価による体調、肌状態、食事バランス

⑤ロボスキンアナライザーの解析結果（水分値、油分値、肌理、毛穴、色素沈着、しわ、明るさ）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学附属女性生涯健康センター

担当医師 檜垣祐子

電話 03-5363-0723 FAX 03-5363-0802

平成 25 年 11 月 6 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 骨髄増殖性腫瘍および類縁疾患における関連遺伝子の解析

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液内科

【研究責任者】 東京女子医科大学 血液内科 主任教授 田中淳司

【研究の目的】 骨髄増殖性腫瘍、類縁疾患および原因不明の血球増加症の発症と関連した遺伝子異常を明らかにする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

骨髄増殖性腫瘍、類縁疾患および原因不明の血球増加症の患者さんで、2000 年 7 月 4 日から 2013 年 12 月 12 日の間に研究用の血液、骨髄、口腔粘膜の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、骨髄、口腔粘膜、DNA（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：1 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、治療効果、状態

2 血液検査結果：血算、生化学検査、肝機能、腎機能、CRP、蛋白、NAP スコア

3 CT、エコー、病理、骨髄像、染色体、キメラ遺伝子、表面マーカー

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科

担当医師 森 直樹

電話 03-3353-8111 (31544)

FAX 03-5269-7329

平成 25 年 11 月 26 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 特発性冠動脈解離の臨床的特徴と予後に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 安田 聡
東京女子医科大学 循環器内科 責任者名 萩原 誠久

【研究の目的】

特発性冠動脈解離の臨床的特徴と予後は不明な点が多く、それらを明らかにすることで新しい治療手段や予防策を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1991 年 1 月～2011 年 12 月の間に、特発性冠動脈解離もしくは 50 歳以下で急性冠症候群を発症され、入院加療を受けられた女性患者様。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査、心エコー図検査、心電図検査、心臓カテーテル検査、治療内容など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 山口 淳一

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

年 月 日

患者さまへ

現在、当施設では国立循環器病研究センター(大阪府吹田市)と共同で、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

1991年1月～2011年12月の間に、特発性冠動脈解離もしくは50歳以下で急性冠症候群を発症され、入院加療を受けられた女性患者様。

【研究課題名】

特発性冠動脈解離の臨床的特徴と予後（その他の原因の急性冠症候群との比較）

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 安田 聡
東京女子医科大学 循環器内科 責任者名 萩原 誠久

【研究の目的】

特発性冠動脈解離の臨床的特徴と予後は不明な点が多く、それらを明らかにすることで新しい治療手段や予防策を検討する。

【利用するカルテ情報・資料】

診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査、心エコー図検査、心電図検査、心臓力テール検査、治療内容など。

【研究期間】

平成27年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学 循環器内科 山口 淳一

平成25年11月20日

耳鼻咽喉科または形成外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕下咽頭癌に対する咽頭喉頭頸部食道摘出術後の再建に関する多施設共同研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院形成外科

〔研究責任者〕 形成外科 教授 櫻井裕之

〔研究の目的〕

頭頸部癌（口の中やのどの癌）を切除されると、口やノドの中に大きな欠損が生じます。この欠損に対する再建手術として、自分の腸や皮膚を移植（移植した腸や皮膚を栄養する血管は首の血管と縫い合わせられます）して欠損部を塞ぐ手術方法が一般的になっています。しかし、細かい手術の方法などの選択については、術者の経験や好みによる部分が多くを占めています。また、頭頸部癌は胃癌などに比べると数が少ないため、大規模な調査がほとんど行われていません。

そこで、多施設共同で研究を行うことで、頭頸部癌の再建手術について日本で初めての大規模な調査を行うことといたしました。手術の細かい方法や、術後の結果を解析することで、より質の高い標準的な再建術式の確立を目的としています。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

下咽頭癌の患者さんで、平成8年1月1日から平成18年12月31日の間に癌の切除の際に腸管や皮弁の移植による再建術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、既往歴、治療歴、再建の術式、手術時間、出血量、術後経過、術後合併症の有無など。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院形成外科 担当医師 櫻井裕之

電話 03-3353-8111 (代表) 内線 31424

平成 25 年 12 月 3 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 マクログロブリン血症における臨床病理学、細胞遺伝学的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院血液内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学 血液内科 主任教授 田中淳司

〔研究の目的〕 マクログロブリン血症の臨床病理学的、細胞遺伝学的な検討を行う。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

マクログロブリン血症の患者さんで、2000 年 1 月から 2013 年 12 月の間に初発の方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：骨髄

カルテ情報：1 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、治療効果、クリオグロブリンの有無、頭痛、過粘調度症候群、B 症状、寒冷凝集素症、骨病変、腎病変、アミロイドーシス

2 血液検査結果：血算、生化学検査、肝機能、腎機能、CRP、蛋白、白血球、Hb、血小板、凝固検査、TP、alb、LDH、補正 Ca 値、 $\beta 2$ -MG、Cr、IgG、A、M、表面マーカーの発現様式、形質細胞割合、G-band 法、FISH 法など

3 CT、エコー、病理、骨髄像

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科

担当医師 森 直樹

電話 03-3353-8111 (31544)

FAX 03-5269-7329

平成 26 年 1 月 10 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 成人先天性心疾患におけるバイオマーカーと心不全の関連性の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 中西敏雄、循環器小児科

【研究の目的】心臓バイオマーカーに関連した血液検査の有用性を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

成人先天性心疾患の患者さんで、平成 17 年 4 月 1 日から平成 26 年 4 月 1 日の循環器小児科病棟に入院中して血液検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 宮本健志

電話 03-33538111

平成 26 年 3 月 3 日

過去に東京女子医大病院集中治療室に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

バイオインピーダンス法を用いた人工呼吸中の肺内ガス分布評価に関する後向き研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院麻酔科

[研究責任者] 麻酔科主任教授 尾崎 眞

[研究の目的]

人工呼吸中に肺にどのようにガスが入っているか調査し、人工呼吸療法の効果を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

急性呼吸不全のために人工呼吸療法を受けた患者さんで、平成 20 年 8 月 25 日から平成 25 年 9 月 30 日の間に本装置（電気インピーダンストモグラフィー）を用いた検査を受けた方

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、身体所見、病歴、手術記録、検査結果（血液検査、画像検査、放射線画像、気管支肺胞洗浄検査、気管支鏡検査、感染症検査、肺機能検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科・中央集中治療部

担当医師 小谷 透

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7336

3019

平成 26 年 2 月 12 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

—臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い—

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 Noonan 症候群の表現型と遺伝子型の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 中西敏雄、循環器小児科、教授

【研究の目的】

診療録に記載された臨床情報を収集し、既に解析されている遺伝子変異の有無と照らし合わせて、日本人の Noonan 症候群における遺伝子変異と臨床像の関係を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

Noonan 症候群の患者様で、平成 3 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に Noonan 症候群の原因遺伝子検索を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族歴の有無、合併症、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓カテーテル検査）、治療内容、重症度（NYHA分類）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 中西敏雄

電話 03-3353-8112 内線 23111

FAX 03-3352-3088

平成26年2月1日

通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

1. 【研究課題名】「精神科病棟における薬剤師の業務に関する調査・研究」

【研究機関】 東京女子医科大学病院 薬剤部

【研究責任者】 木村 利美 薬剤部 薬剤部長

【研究の目的】

精神科病棟で薬剤師が行っている業務について調査を行い、具体的な業務内容およびその有用性に関するエビデンスを創出する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

本研究の承認後から平成27年12月31日までの期間において東京女子医科大学病院、の精神科病棟に入院した患者の内、薬剤師が薬剤関連業務を実施した患者さん

●利用するカルテ情報

薬剤師が行った処方提案、検査依頼の事例を収集する。処方提案の前後における、精神症状および副作用、向精神薬の等価換算量、併用薬剤数、薬剤費について調査を行う。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 薬剤部 担当 高橋 結花

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7385

3024

平成 26 年 1 月 10 日

女性生涯健康センターに通院中（または過去に通院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 Visual Analog Scale、WHO QOL26 を用いたリハビリメイクの効果に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 附属 女性生涯健康センター

東京女子医科大学病院 附属 青山女性医療研究所

他 4 施設

【研究責任者】 檜垣 祐子

東京女子医科大学 附属 女性生涯健康センター 教授

【研究の目的】

リハビリメイクの効果を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 17 年 10 月 18 日から平成 25 年 12 月 26 日の間にリハビリメイクを受けた女性

●利用するカルテ情報

①年齢、外観上の悩みの部位・症状、診断名、既往歴

②メイク施術前、直後、および 3 週間後の自分の外観に対する Visual Analog Scale (VAS)

③メイク施術前、3 週間後の WHO-QOL26

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区若松町9-9

東京女子医科大学 附属 女性生涯健康センター 担当医師 檜垣 祐子

電話 03-5363-0723 FAX 03-5363-0802

平成 26 年 2 月 27 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 局所限局前立腺癌に対する外部照射併用高線量率組織内照射における Quality of Life の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

【研究責任者】 三橋紀夫 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 主任教授

【研究の目的】

局所限局前立腺癌における外部照射併用高線量率組織内照射における Quality of Life を評価し、起因する因子を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

前立腺癌の患者さんで、2007 年 5 月から 2010 年 9 月の間に外部照射併用高線量率組織内照射を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）
治療内容（放射線治療・ホルモン療法）、合併症の有無、有害事象

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 橋本弥一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 26 年 2 月 27 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 局所限局前立腺癌における寡分割強度変調放射線治療の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

【研究責任者】 三橋紀夫 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 主任教授

【研究の目的】

局所限局前立腺癌における寡分割強度変調放射線治療の治療効果を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

前立腺癌の患者さんで、平成 17 年 5 月から平成 23 年 12 月の間に寡分割強度変調放射線治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）
治療内容（放射線治療・ホルモン療法）、合併症の有無、有害事象

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 橋本弥一郎

電話 03-3353-8111

FAX 03-5269-7355

平成 26 年 3 月 11 日

神経内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

東京女子医科大学神経内科における急性期虚血性脳卒中患者の臨床的特徴、転帰に関する後方視的研究（TWMU Stroke Registry Retrospective Cohort）

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経内科

[研究責任者] 内山 真一郎（東京女子医科大学病院神経内科 主任教授）

[研究の目的]

神経内科に入院した脳卒中患者さんの症状や検査結果の特徴、治療効果などを把握することです。さらに、現状の脳卒中診療の問題点を明らかにして、今後の診断や治療の向上を図ることが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2004 年 1 月から 2013 年 11 月の間に急性虚血性脳卒中（脳梗塞あるいは一過性脳虚血発作）の診断で当科に入院し、検査、治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名（脳梗塞の病型、重症度）と治療内容、既往症/併存疾患およびそれらに対する治療内容、バイタルサイン、身体診察所見、神経診察所見、血液・尿検査結果、画像診断結果（X 線、CT、MRI、核医学検査、血管撮影、超音波）、12誘導心電図、ホルター心電図、ベッドサイドモニター心電図、入院前/入院中/退院後外来の医療記録、入院/退院サマリー

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科

担当医師 星野 岳郎

平成 26 年 2 月 12 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 IPAH, FPAH, HHT の表現型と遺伝子型の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 中西敏雄、循環器小児科、教授

【研究の目的】

診療録に記載された臨床情報を収集し、既に解析されている遺伝子変異の有無と照らし合わせて、日本人の肺動脈性肺高血圧症における遺伝子変異と臨床像の関係を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肺動脈性肺高血圧症の患者様で、平成 3 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に肺動脈性肺高血圧症の原因遺伝子検索を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族歴の有無、合併症、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓カテーテル検査）、治療内容、重症度（NYHA分類）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 中西敏雄

電話 03-3353-8112 内線 23111 FAX 03-3352-3088

東京女子医科大学 泌尿器科 web ページ説明書

研究名；全国泌尿器癌登録

(1)研究の趣旨

本研究は本邦における泌尿器癌（腎癌、腎盂・尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍）の統計および調査を行うことにより、泌尿器癌に関する疫学、診療、治療の現状ならびに治療成績を解析し、研究ならびに診療の進歩・普及・適正化を図ることを目的とし、当院で治療を受けられた全例を登録します。社団法人日本泌尿器科学会による研究です。

(2)対象

当院での倫理委員会承認後、毎年行います。対象は、当院にて検査或は加療を受けた泌尿器科癌（腎癌、腎盂・尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍）患者さんです。

(3)研究内容

主たる研究内容は発生頻度、罹患率などの把握というより、病態に対してどのような治療が実施され、その上でどのような治療成績が得られているかということで、全国規模で多数例を集計することは臨床的には十分意味があると思われます。本研究により以下の点が期待されます。

- ・ 治療選択の実情
- ・ 多数例での治療成績の評価
- ・ 治療成績の標準化
- ・ 癌取扱規約の問題点、
- ・ TNM 分類の本邦での問題点
- ・ 患者、国民への疾患の理解の向上
- ・ データベースの構築

(4)個人情報の管理について

今回は、新たに検体を採取することはありませんが、臨床的なデータと比較する必要があり個人情報を扱います。個人情報を今回の研究以外で利用することは有りません。また、学会／論文で報告させて頂く際は、個人情報は全て削除致します。

(5)研究期間

研究を行う期間は承認日より毎年です。

(6)医学上の貢献

得られた結果を学会や論文等に公開する事により、本邦における泌尿器科癌の治療実態を把握できます。更に、それらを今後の治療に役立てることが出来ます。

(7)試料提供者にもたらされる利益及び不利益

研究に参加したことで治療内容が異なることは有りません。本研究に参加することにより加わる新たなリスクは有りません。

(8)検査結果を伝えることについて

本研究では個別の患者さんについて新たな結果が出るわけではありませんが、ご希望の方には、全体結果が判明しお知らせする事ができる状態であればお知らせいたします。

(9)研究結果の公表

研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名等が明らかにならないようにした上で、学会や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されることがあります。

(10)研究から生ずる知的所有権について

特許等の知的所有権が生じた場合は、研究者あるいは研究機関がその知的所有権を持つことになります。

(11)研究用の検査の費用について

本研究にかかる患者さんの費用負担は有りません。

(12)問い合わせ先

○ 問い合わせ先

説明者氏名、診療担当医師氏名：

東京女子医科大学泌尿器科 講師 近藤恒徳

電話：03-3353-8111 内線 36441

平成 26 年 2 月 5 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 白血病、悪性リンパ腫における *GATA3* 遺伝子の病態への関与

【研究機関】 東京女子医科大学病院

【研究責任者】 血液内科 主任教授 田中淳司

【研究の目的】

白血病、悪性リンパ腫の進展、増悪に関係する異常を解明するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

白血病、悪性リンパ腫の患者さんで、平成 12 年 7 月 4 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に遺伝子、蛋白の研究用の検体の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、骨髄、リンパ節生検組織（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：

- ① 患者基本情報：年齢、性別
- ② 疾患情報：疾患名、症状、治療内容、治療効果、生存
- ③ 血液検査結果：血算、肝機能、腎機能、CRP、LDH、可溶性 IL2 レセプター
- ④ 画像検査所見：CT、PET、腹部エコー
- ⑤ 骨髄像、染色体、キメラ遺伝子定量、生検結果、表面マーカー解析、予後因子（国際予後index）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡下さい。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 志村 華絵

電話 03-3353-8111 (31544) FAX 03-5269-7329

平成 26 年 3 月 17 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「低侵襲腎部分切除における仮性動脈瘤発症に関与する因子の検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 主任教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

低侵襲腎部分切除（腹腔鏡下あるいはロボット支援腹腔鏡下腎部分切除）後の仮性動脈瘤発生に関与する因子を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎腫瘍の患者さんで、平成 24 年 2 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に低侵襲腎部分切除術を受けられ、術後 3, 4 日目の早期に造影 CT を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）

②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 近藤 恒徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成●年●月●日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 FDG/PET による大腸癌病期、再発および予後予測に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 亀岡信悟 第二外科 主任教授

【研究の目的】

FDG/PET による大腸癌病期診断、再発および予後予測

【研究の方法】

●対象となる患者様

2005年3月から2013年12月までの間に東京女子医科大学第二外科で大腸癌の手術を受けた患者様

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、FDG/PET 画像所見(SUV max, SUV ave, Volume)、腫瘍最大径、組織型、肉眼型、壁深達度、リンパ節転移度、血液データ

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科

担当医師 小川真平

電話 03-3353-8111(内線 39251)

FAX 03-5269-7334

平成 26 年 3 月 19 日

リウマチ科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 関節リウマチに併発する器質化肺炎における病態機序の解明

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

[研究責任者] 膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科 教授 山中寿

[研究の目的]

関節リウマチに併発する器質化肺炎における病態を解明するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間にリウマチ・膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

担当医師 五野貴久

電話 03-5269-1725 FAX03-5269-1726

平成 26 年 3 月 19 日

健常ボランティアの方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 関節リウマチに併発する器質化肺炎における病態機序の解明

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

[研究責任者] 膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科 教授 山中寿

[研究の目的]

関節リウマチに併発する器質化肺炎における病態を解明するため

[研究の方法]

●対象となる健常ボランティアの方

健康な成人の方で、平成 15 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間にリウマチ・膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

医学情報：年齢、性別

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も健常ボランティアの方を特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体および医学情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

担当医師 五野貴久

電話 03-5269-1725 FAX03-5269-1726

平成 26 年 3 月 6 日

リウマチ科および膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 自己炎症性疾患における遺伝子変異と臨床症状の関連の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

〔研究責任者〕 川口 鎮司 リウマチ科および膠原病リウマチ痛風センター 臨床教授

〔研究の目的〕

希少疾患である自己炎症性疾患の臨床症状と遺伝子変異の関連を検討することを目的とします。自己炎症性疾患とは、家族性地中海熱、クリオピリン関連周期性発熱、TNF 受容体関連周期性発熱、高 IgD 症候群、PAPA 症候群、Blau 症候群が含まれます。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

自己炎症性疾患の患者さんで、平成 17 年 1 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に診断を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、家族歴、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、原因遺伝子の検索）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 川口 鎮司

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1726

平成 25 年 5 月末日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

Anterior Approach to Right Hepatectomy with Caudate Lobectomy for Perihilar Cholangiocarcinoma

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 消化器外科 教授

〔研究の目的〕 肝門部領域胆管癌に対する Anterior approach 法による肝切除兼尾状葉切除の安全性と有効性を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

肝門部胆管癌の患者さんで 2003 年 1 月 1 日から 2013 年 2 月 28 日の間に手術治療（切除術）を受けた方

●利用するカルテ情報

手術時間、出血、輸血、Pringle 時間、Pringle 回数、AST、ALT、総ビリルビン、年齢、性別、術式、胆道ドレナージ、Alb、経皮経肝的門脈塞栓術、化学療法有無、放射線療法有無、術後補助療法有無、UICC stage、UICC T、UICC N、UICC M、癌遺残度、術後合併症（clavien 分類）、在院死亡発生率、在院日数、術後在院日数、胆管像分類（Bismuth 分類）、組織型、リンパ管侵襲、脈管侵襲、神経周囲浸潤、肝浸潤、胆道癌取扱い規約による stage、胆道癌取扱い規約による T、胆道癌取扱い規約による N、胆道癌取扱い規約による M、転帰、再発様式、生存期間、無再発生存期間、観察期間

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科

担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 (内線 25116) FAX 03-5269-7507